

性能検証

社団法人公共建築協会建築材料・設備機材当性能評価事業に係る評価基準に準拠し安全性を確認しております。

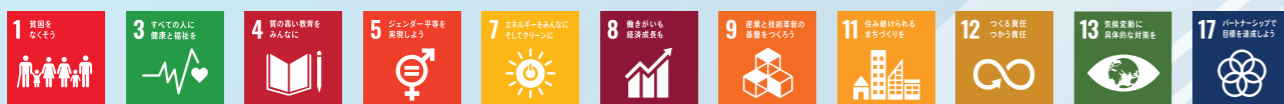


歩車道ブロック付の管渠型側溝に対応可能



環境に対する取り組み

SDGsは17の目標で構成されています。そのうち宝機材では具体的に11項目の達成に向けた取り組みを策定しています。



側溝の困りごと 速効解決

トップシールド工法



瞬速施工

コスト削減

流量確保

躯体修繕

組立簡単

自由設計

必要な時、必要な場所を、必要なだけ、修繕する

管渠型側溝用残存型枠補修工法



株式会社 宝機材

管渠側溝の修繕は「トップシールド工法」 メール info@takara-kizai.com
TEL 058-327-2222 / FAX 058-327-2223



トップシールド工法のここがすごい！！

トップシールド工法とは

トップシールド工法とは、既設の管渠型側溝を活かし一般的な工具のみで施工できるリニューアル工法です。

わずか数時間で施工できるため工期が早く、歩行道ブロックを撤去することなく管渠型側溝の修繕が可能になります。

トップシールド工法は、既設管渠型側溝の破損している車道側を延長方向に切断し、ハイテン鋼製残存型枠をジェットコンクリートにて修繕する工法です。



環境にやさしい

片側のカットのみのため建設廃材の発生を抑えられ環境にも優しい

錆びに強い

ハイテン鋼製残存型枠は亜鉛メッキが標準仕様

簡単施工

特殊ボルトで簡単に型枠を設置でき施工が簡単

瞬速施工

わずか数時間で施工完了するため即日解放が可能

コスト削減

従来工法に比べ大幅にコスト削減

歩行道ブロックはそのままでも施工が可能！

Q

歩行道ブロック付き円形水路の補修工法は？

A

今までは側溝の入れ替えなどで対応していましたがトップシールド工法は歩行道ブロックはそのままでの施工が可能です。

Q

廃材は多く出ない？

A

片側のみをカットするため建設廃材を抑えられます。

Q

歩行道ブロックがない場合も対応は可能？

A

対応可能です。

Q

施工は難しい？

A

削孔、切断、特殊ボルトでの型枠組立の簡単な施工でできます。

Q

日当たり施工量は？

A

1日当たり20m程度です。(自社積算)

施工手順



①水路確認

現場にて既設管渠型側溝の寸法を確認する。



②削孔

コンクリートドリルなどを使用し30φ丸穴を1mあたり2カ所削孔する。



③切断

道路カッターなどを使用し側溝の延長方向片側を切断する。



④型枠設置

ハイテン鋼製残存型枠を切断した側溝にセットし特殊ボルトにて組付ける。



⑤コンクリート打設

型枠と側溝の隙間に漏れ止め処置をし、ジェットコンクリートを打設する。



⑥完成

養生後、④でセットした特殊ボルトを引き抜き完成。